

今回はシリーズ最長の10時間耐久ということで獲得ポイントも大きくなり上手いけばシリーズチャンピオン決定ですがリタイヤとかになると逆にポイント差がゼロになる可能性がありますプレッシャーが押し掛かります。台風の影響で雨も心配される状況で不安要素です。そんな状況ですが絶対にシリーズチャンピオンを決める気でこの1か月半準備してきました。事前のテストしっかりしてきたのでセットはほぼほぼいい感じですので自信を持って挑みます。



9月1日 金曜日 公式練習

朝一のフリー走行1本目は晴れ。AM8時からコースイン。Aドライバーの村上がまずはアタックしてクラス1番手タイムと幸先の良いスタートをきります。今回はBドライバー脇谷選手、Cドライバー加藤選手に加えて富士チャンピオンレースのN1ロードスターで活躍中の雨宮選手をDドライバーで召集して万全の態勢です。

9月2日 土曜日 公式予選

前日の雨でコースがどんどん良くなる中での予選。12時45分からまずはAドライバーの村上がコースイン。3周目に2分5秒4でクラス1位のタイム。Bドライバーの脇谷は2分5秒1でクラス2位のタイムで合算で4戦連続のポールポジションです。予選 ST5クラス13台中1位

9月3日 日曜日 決勝

決勝は10時間レースということでAM7時にコースインして8時からスタートになります。朝は涼しく最高のコンディションです。スタートは村上です。ロードスターは高速はすごく伸びるのですが中低速は他車に負けるので渋滞が苦手です。スタート時の渋滞に巻き込まれてズルズルと順位を落とします・・・そして10周目にポルシェにぶつけられてアライメントが狂うトラブル。予定より早めのピットインでタイヤを交換&ドライバー交代。脇谷選手に交代するもまたもフィットに抑え込まれて厳しい戦いが続きます。そして富士がホームコースの雨宮選手に交代。凄まじい勢いで上位を追い上げてい

き一気に2位に浮上してドライバー交代にピットにタイミングが悪くてSCが出勤してしまい60秒のペナルティ。それでも加藤選手は心を折らずにしっかり走り、もう一度雨宮選手に交代。名誉挽回でまたまたすごい勢いで走り暫定1位になり僕に交代。が、無線で「ピットイン時にスピード違反でドライブスルーです。」ここで暫定3位まで落ちますが必死で走ります。ところがパワステが壊れました。症状がどんどん悪くなり急に重くなったり軽くなったりで恐怖に襲われます。無線で「どうにもならんからそのまま走れ」と言われて覚悟を決めて必死でステアリングを抑えながら走ります。ドリンクのポンプも壊れてドリンクも2スティント目に無くなりました。足がつりそうなと腕がパンパンでしたがここが踏ん張りどころと思い少しでも長く走ればチャンスがあると走り切りました。脇谷もすごく重いステアリングに苦しみながら1スティントで戻って来ると倒れ込むようになりながらもドラチェンのサポートしてラストは加藤選手に燃費とブレーキパッドも残り1mmですのですべてを託します。そして1時間のスティントを完璧に走り切り10時間の耐久レースをクラス2位でチェッカーを受けました。この結果スーパー耐久2017のST-5クラスのシリーズチャンピオンが決定しました。決勝 ST5クラス13台中2位

総括 チームオーナー村上

台数も増えて激戦になったこと、ロードスターが増えて自分達のチームの真価が問われるレースになるということでプレッシャーもありましたが念願のスーパー耐久ST-5クラスのシリーズチャンピオンになることができました。マツダのレシプロエンジンの車両でチャンピオンは史上初ということです。本当に時間も掛かりましたがこうして夢を追い掛けることに付き合ってくれた仲間本当に感謝ですし、自分達が新しい歴史を作れたことは常に挑戦という気持ちを持ち続けた結果だと思えます。本当に嬉しく、たくさんのスポンサー様、レース仲間を支えられてここまでこれたことに感謝です。本当にたくさんの応援頂きパワーを頂きありがとうございました。MAZDAロードスター最高です。これからも挑戦を続けていきますので皆様の応援よろしくお願います。本当にありがとうございました。

